

人の腸管内には1000種類、1000兆個の腸内細菌が存在していると言われ、細菌は人間の健康維持に欠かせないものですが、病原菌は侵入させないよう、粘膜には大量のIgA（免疫グロブリンA）抗体が存在しています。免疫を司る細胞が欠損したマウスでは、腸内細菌叢の多

様性が乏しいのですが、免疫反応を抑制するT細胞「制御性T細胞」を移入させると、IgA抗体の産生が誘導され腸内細菌叢の多様性が増加することが、理化学研究所などの研究で明らかにされました。また、通常に飼育されたマウスに、バランスがとれた腸内細菌叢を持つマウスの糞便を投与すると、IgA抗体が効率よく産生されることもわかり、外部からの腸内細菌の投与で人為的に腸内細菌叢および免疫系を制御できる可能性が示唆されました。糞便移植がさまざまな疾患の有効な治療として、普及するようになることが期待されています。



福本 学

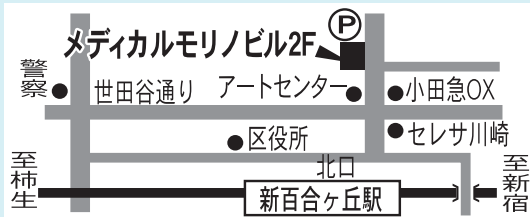
■内科

新百合山手福本内科

☎ 044-955-8877

麻生区万福寺 6-7-2

メディカルモリノビル 2F

<http://www.fukumotonaika.jp/>

スの糞便を投与すると、IgA抗体が効率よく産生されることもわかり、外部からの腸内細菌の投与で人為的に腸内細菌叢および免疫系を制御できる可能性が示唆されました。糞便移植がさまざまな疾患の有効な治療として、普及するようになることが期待されています。